

田万川林業振興会が田万川中学校で「森の学校」を実施

令和6年11月7日（木）、萩市立田万川中学校の1年生12名を対象に、地元林業研究グループ「田万川林業振興会」が、森の学校を行いました。

この活動は、次代を担う生徒たちに、森林の大切さや、地域林業の重要性を体感し、理解を深めてもらうために行われたものです。

萩農林水産事務所職員から森林・林業の話聞き、その後シイタケ栽培に使用する原木の玉切りや種駒打ちなどを行いました。

はじめに、班ごとにノコギリを使って交代しながら原木を1mの長さに玉切り、次に電気ドリルで穴を開けてシイタケの種駒を打ち込みました。最初は電動ドリルの音や振動に緊張気味だった生徒も振興会会員の手ほどきを受けながら、楽しそうに作業していました。出来上がったほだ木は学校に隣接する林内に伏せ込みました。

今回の森の学校を通じて、森林・林業に興味を持ってもらえることを期待しています。



原木の玉伐り



種駒の打ちこみ